



セットアップマニュアル

DuraVision® DX0211-IP

IP デコーディングボックス

ソフトウェアバージョン 5.4

重要

ご使用前には必ずこのセットアップマニュアルおよび設定マニュアル、操作マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。
このセットアップマニュアルは大切に保管してください。

-
- ・セットアップマニュアルを含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

絵表示について

本書および本体では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
	注意（警告を含む）を促すものです。例えば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。例えば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

マニュアルの記載内容について

セットアップマニュアル (本書)	使用上の注意、およびネットワークカメラとの接続からモニターにカメラの画像を表示するまでの設定について説明しています。
設定マニュアル^{※1}	ネットワークカメラの登録や機能の設定、システム設定について説明しています。
操作マニュアル^{※1}	ライブ画面のメニューの操作について説明しています。

※1 ご利用のソフトウェアバージョンの操作マニュアルおよび設定マニュアルは当社Webサイトから確認してください。「サポート」から「取扱説明書」を選択し、「製品名から検索」に「DX0211-IP」を入力して「検索」をクリックしてください。

www.eizo.co.jp

PDFファイルを見るためには、Adobe® Acrobat® Reader®のインストールが必要です。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

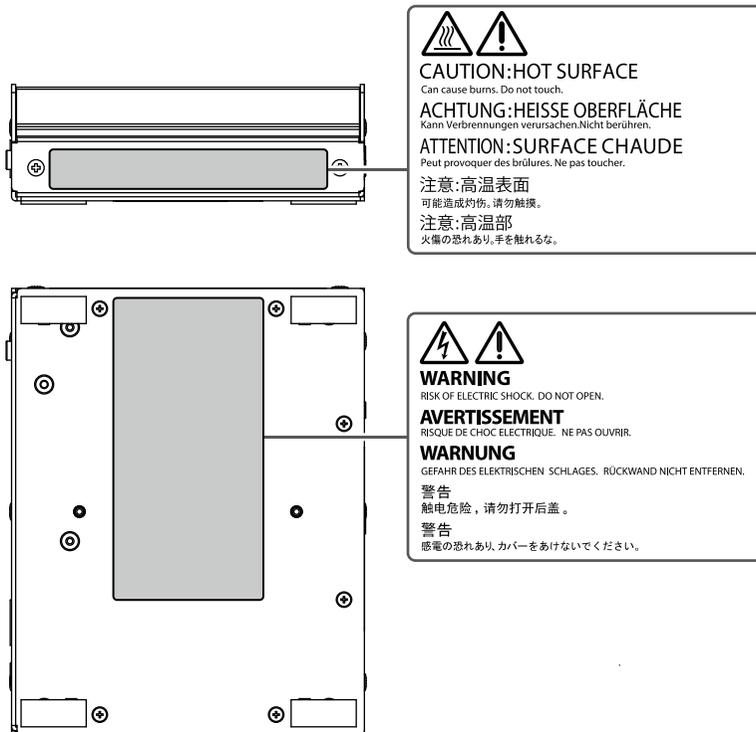
1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

使用上の注意

重要

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置



警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源入力を遮断して販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



分解しない、製品を改造しない

この製品の内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



異物を入れない、液体を置かない

この製品の内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、この製品の内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源入力を遮断して、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源を切り、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。強い振動や衝撃を受ける場所への搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など。
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境。
- ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。
- 直射日光が直接製品に当たる場所。
- 可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



ACアダプタを使用する場合は、当社指定のACアダプタ（DVAC-01）を使用する
他の機器のACアダプタを使用すると、火災、感電の原因となります。



警告

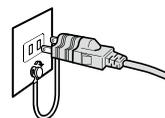
ACアダプタを使用する場合は、ACアダプタに付属の電源コードを100VAC電源に接続して使用する

誤った接続をすると火災、感電の原因となります。



ACアダプタを使用する場合は、付属の二芯アダプタを使用してアースリード（線）を確実に接続する

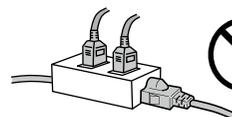
確実に接地されていないと火災や感電の原因となります。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- ・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- ・タコ足配線



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグを抜く

コード部分を引っ張ると、電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機やACアダプタ、電源コードには触れない

感電の原因となります。



リモコン用電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れ、やけどの原因となります。

- ・分解や加熱をしたり、濡らしたり、ショートさせたりしない。
- ・電池の取り付け、交換は正しくおこなう。
- ・電池を交換する場合は、同じ種類・型番の電池を使う。
- ・2本以上使用する製品での交換は、同じ種類・銘柄の新しい電池を使う。
- ・プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れる。
- ・被覆にキズの入った電池は使用しない。
- ・廃棄時は地域指定の「電池回収箱」などへ入れる。

注意

運搬のときは、接続ケーブルやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



製品の上にものを置かない

- ・製品の上や周囲にものを置かない。
- ・風通しの悪い、狭いところに置かない。
- ・横倒しや逆さにして使わない。

内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグやACアダプタに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



ACアダプタ使用中は高温となるので注意する

- ・ACアダプタの上にものを置いたり、かぶせたりしないでください。また、ACアダプタをじゅうたんや布団など、熱がこもるものの上に置かないでください。ACアダプタはストーブなどの熱源や直射日光から遠ざけてください。火災の原因となることがあります。
- ・素手で触れないでください。やけどの原因となることがあります。
- ・移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、十分冷えてから移動させてください。



ACアダプタは宙吊りのまま使用しない

宙吊りのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源入力を遮断する

電源を入力したままでおこなうと、感電の原因となります。



この製品について

使用について

ネットワークカメラの映像をHDMIケーブルで接続したモニターに出力する機器です。次のような極めて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途で使用する場合は、安全性を確保する措置を施した上でご使用ください。

- ・ 運送機器（船舶、航空機、列車、自動車など）
- ・ 防災防犯装置など各種安全装置
- ・ 生命に直接関わる装置（生命維持装置や手術室用機器など医療用装置）
- ・ 原子力制御機器（原子力制御システム、原子力施設の安全保護系システムなど）
- ・ 幹線通信機器（輸送システムの運転制御システム、航空管制制御システムなど）

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、当社が指定するACアダプタや信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

設置について

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

この製品は、机などの安定した台に、平らな面を底面とした状態で横置きに設置してください。

専用の取り付け金具（別売りオプション）を使用することで、この製品をモニターに取り付けて使用するすることができます。取り付け金具は当社Webサイトで購入できます。

www.eizo.co.jp

取り付け金具を使用した場合の設置方向は、取り付け金具の取扱説明書を参照してください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、製品の底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。

免責について

当社は、この製品の使用または故障等（以下に起因するものを含みますがこれに限りません）により生じた直接、間接のいかなる損害（逸失利益の喪失などを含む）についても一切責任を負わないものとします。

1. お客様の誤使用や不注意
2. お客様による分解、修理または改造
3. この製品の故障、不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示できないこと
4. 第三者の機器などと組み合わせたこと
5. お客様の監視画像について何らかの理由によりプライバシー侵害等の事由が発生したこと
6. 登録・記録された情報が何らかの原因により消失したこと

この製品は、カメラで監視している画像を表示できますが、この製品単独で犯罪などを防止するものではありません。

ネットワークセキュリティに関するお願い

この製品はネットワークへ接続して使用するため、次のような被害を受ける可能性が考えられます。

1. この製品を経由した情報の漏えいや流出
2. 悪意を持った第三者によるこの製品の不正操作
3. 悪意を持った第三者によるこの製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、次のような対策を含め、ネットワークセキュリティ施策を十分におこなってください。

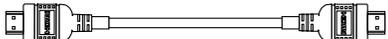
- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上でこの製品を使用する
- 管理パスワードが流出しないように管理する

目次

使用上の注意	3	ご参考に	32
重要	3	ソフトウェアバージョンを確認する	32
この製品について	7	仕様	33
使用について	7	● 対応解像度	34
設置について	7	● 製品寸法図	36
免責について	8	こんなときは	37
ネットワークセキュリティに関するお願い	8	画面が表示されない場合	37
目次	9	画面に関する症状	37
梱包品の確認	10	設定に関する症状	39
各部の名称と機能	10	その他の症状	40
セットアップ	13	付録	41
ネットワークカメラを接続する	14	VCCI	41
モニターを接続する	15	アフターサービス	42
操作機器を接続する	16		
● リモコンを準備する	16		
● USB機器を接続する	17		
● ACアダプタ（別売りオプション） を接続する	17		
電源を入れる	18		
● ライブ画面について	19		
初期設定をおこなう	21		
● ログインする	21		
● 日時設定をおこなう	23		
● ネットワーク設定をおこなう	24		
● カメラを自動検出して登録する	26		
● カメラを手動で登録する	28		
● 言語設定をおこなう	31		

梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、販売店または別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

- DX0211-IP（製品本体）
- リモコン受光ユニット
- HH050HS
HDMIケーブル（HDMI-HDMI）

- リモコン受光ユニットケーブル

- リモコン
- セットアップマニュアル（保証書付き、本書）
- リモコン用単3形電池（2本）
- お客様ご相談窓口のご案内
- PCSK-03 / PCSK-03R取付ネジ
小型端末取り付け用アダプタPCSK-03またPCSK-03Rを取り付ける場合に、使用します。

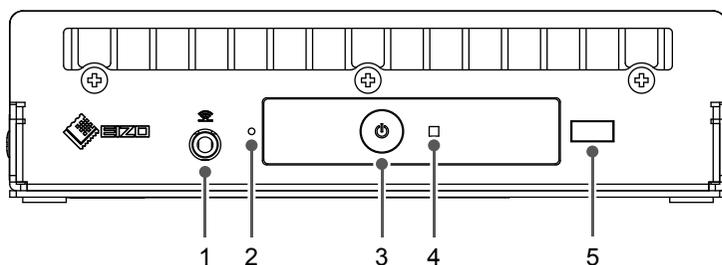
参考

- 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

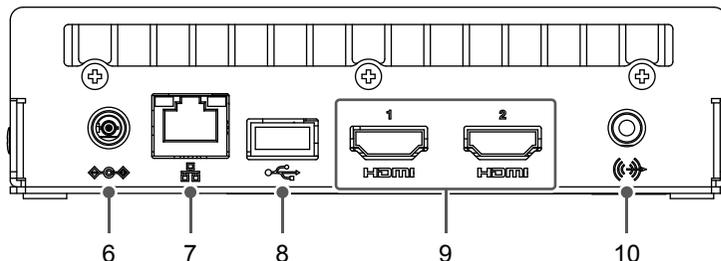
各部の名称と機能

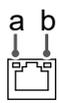
製品本体

前面

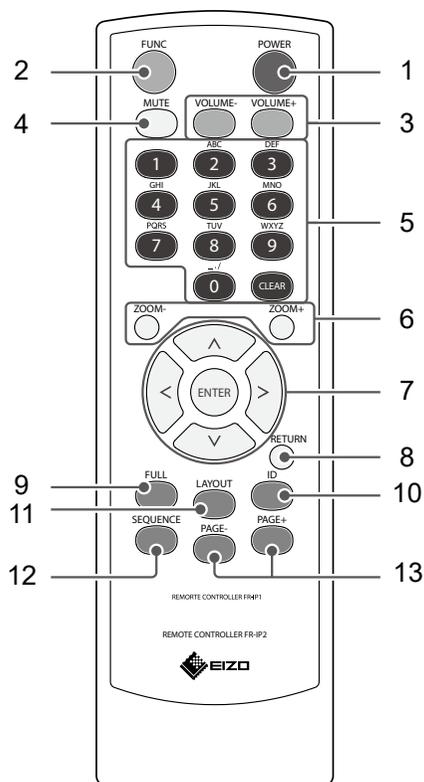


背面



名称	詳細			
1. リモコン受光ユニット用 接続端子	設置する場所により本体のリモコン受光部が使用できない場合に、この端子にリモコン受光ユニットを接続します。詳細は、「リモコンを準備する」(P.16)を参照してください。			
2. リセットボタン	10秒間押し続けると次の情報が初期化されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ情報 ・USBロック ・ユーザーアカウント設定 			
3. 電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。			
4. 電源ランプ	製品の動作状態を表します。			
	青	通常動作モード		
	青点滅	起動中		
	赤	電源オフ		
	消灯	電源非接続		
5. リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。			
6. DC入力	ACアダプタを接続します。			
7. LANポート	ネットワークケーブルを接続します。PoE+対応のネットワークハブと接続すると、電源を入力します。			
		a) Status LED	橙	PoE+で給電中
			消灯	ACアダプタで給電中
	b) Link LED	緑	ネットワーク接続が確立	
消灯		ネットワーク接続が未確立		
8. USBダウンストリーム ポート	USBマウス、USBキーボード、またはジョイスティックを接続します。			
9. HDMI1 / HDMI2	HDMI出力コネクタです。HDMI対応のモニターに接続します。			
10. ステレオミニジャック	音声出力用の端子です。市販のステレオミニジャックケーブルを接続します。			

リモコン

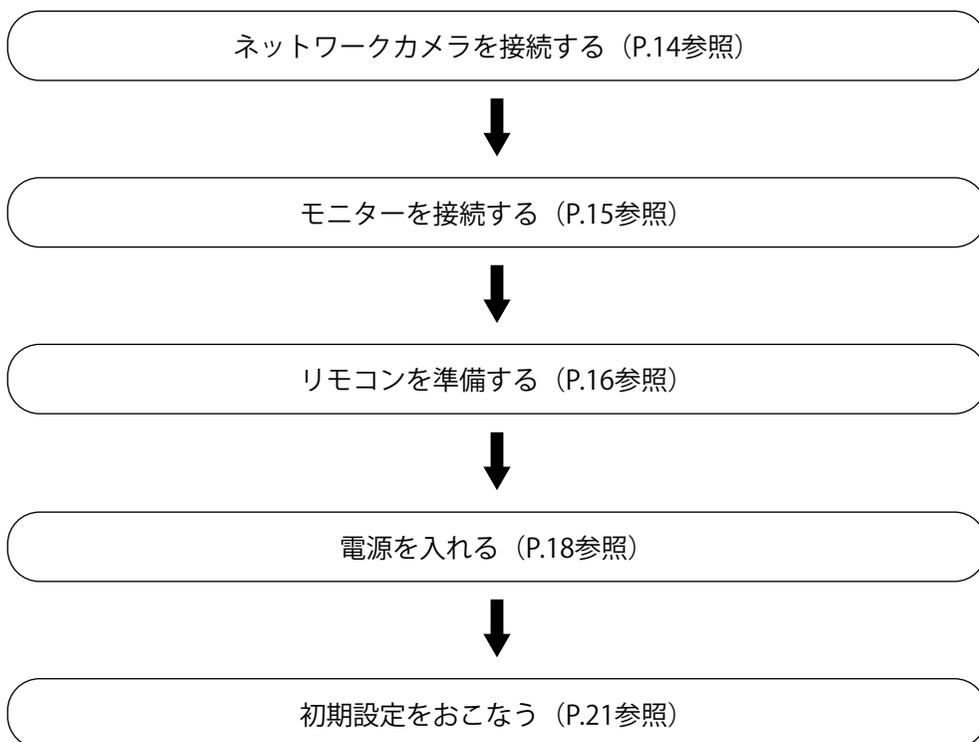


名称	詳細
1. POWER	電源のオン/オフを切り替えます。
2. FUNC	カメラがパン/チルト/ズーム機能対応の場合、ライブ画面の「ズーム」ボタンが選択されます。
3. VOLUME- / VOLUME+	使用できません。
4. MUTE	使用できません。
5. 数字ボタン (0～9) / CLEAR	数字を入力するときに使用します。 注意 ・ アルファベットなどの文字入力には対応していません。
6. ZOOM- / ZOOM+	ネットワークカメラの表示倍率を調節します。
7. ▲/▼/◀/▶、ENTER	ネットワークカメラの操作 (パン、チルト) の設定に使用します。
8. RETURN	メニュー操作時、1つ上の階層に戻ります。
9. FULL	ライブ画面のメニューを表示/非表示します。
10. ID	リモコンのID表示設定がオンの場合、ライブ画面にリモコンおよび本体に登録されているIDを表示します。 詳細は、「設定マニュアル」を参照してください。
11. LAYOUT	ライブ画面のレイアウトを変更します。 押すたびにレイアウトが切り替わります。
12. SEQUENCE	カメラ画像のシーケンス表示のオンまたはオフを切り替えます。
13. PAGE- / PAGE+	ライブ画面に表示するカメラ画像のページを切り替えます。

セットアップ

モニターにネットワークカメラの画像を表示するまでを設定します。
この製品の操作や設定は、USBマウスとUSBキーボードを使用しておこないます。

セットアップの流れ



次の項目を設定します。

- 日付と時刻
- ネットワーク情報
- ネットワークカメラの登録
- カメラ画像の表示位置

以上でセットアップは完了です。

注意点

- 製品の起動時に表示されるメニューやメッセージの言語は、販売地域によって異なります。

参考

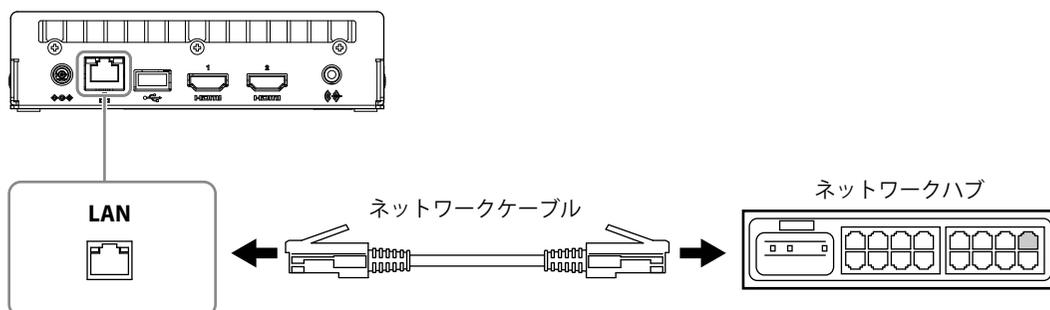
- 初期設定は、同じネットワーク上に接続したコンピュータのWebブラウザからおこなうことができます。Webブラウザ上での設定方法の詳細は「設定マニュアル」を参照してください。

ネットワークカメラを接続する

次の手順でネットワークカメラとこの製品を接続します。

1. ネットワークカメラをネットワークハブ経由でこの製品に接続します。

1. ネットワークケーブル（ストレートケーブル、カテゴリ5e以上）をこの製品とネットワークハブのLANポートに接続します。



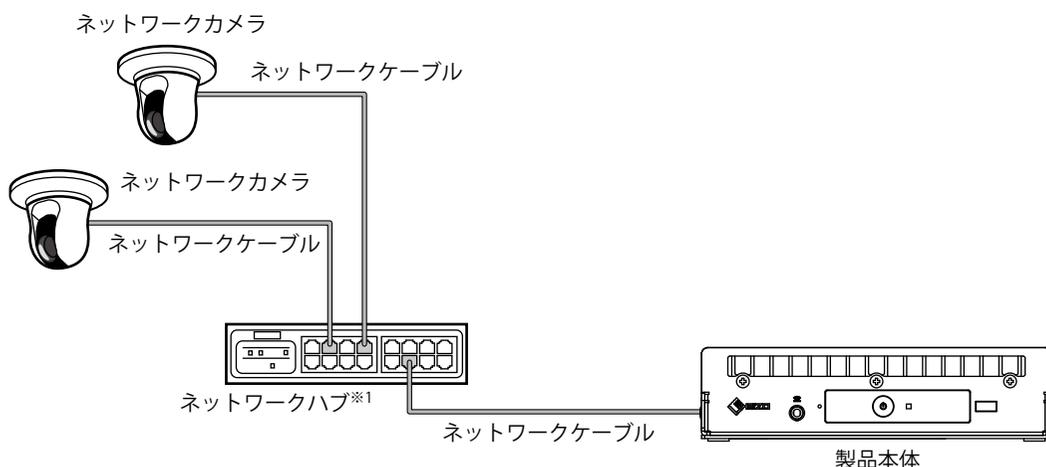
注意点

- 1000Base-T対応のネットワークハブを使用してください。
- ネットワークハブがPoE+機能に対応している場合、この製品はネットワークハブからの給電で動作します。
- ネットワークケーブルは、ストレートケーブルかつカテゴリ5e以上のものを使用してください。
- 各種機器の通信性能を考慮して、ネットワークを構築してください。
- この製品に入力可能な映像の解像度になるよう、ネットワークカメラの設定をおこなってください。入力可能な解像度は「入力解像度」（P.34）を参照してください。

2. ネットワークカメラをネットワークハブに接続します。

ネットワークカメラとネットワークハブの接続については、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

接続例



参考

- 最大48台のネットワークカメラを登録できます。

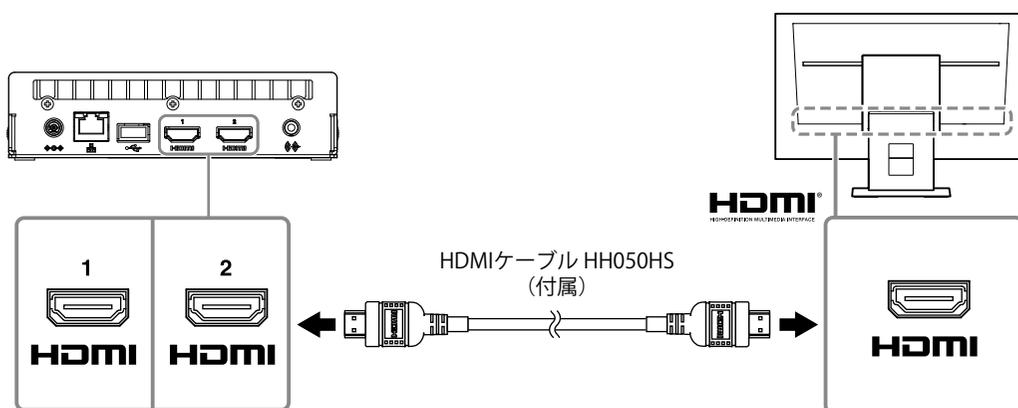
モニターを接続する

この製品に、HDMIに対応したモニターを接続します。「出力解像度」(P.35)に記載の解像度で表示が可能なモニターに接続してください。

注意点

- この製品にはHDMI端子が2つあります。(HDMI 1、HDMI 2)
- 「システム」の「その他システム設定」で「マルチモニター設定」が「1画面」に設定されている場合、モニターはHDMI 1に接続してください。(「マルチモニター設定」の初期値は「拡張」です。)

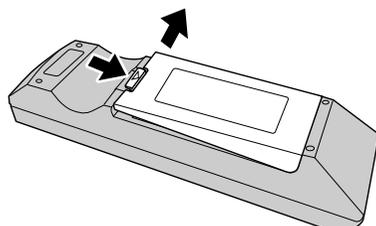
接続例



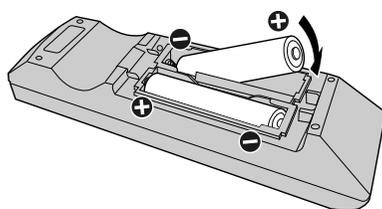
操作機器を接続する

● リモコンを準備する

1. リモコンの底面を上にし、つまみを押してロックを外し、カバーを取り外します。

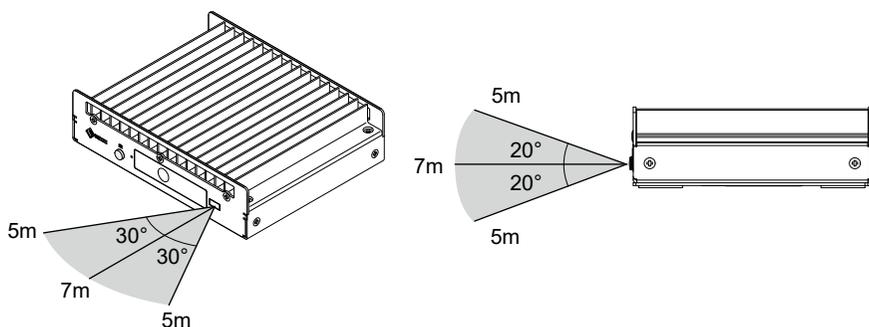


2. 単3形乾電池を入れ、カバーを元に戻します。



注意点

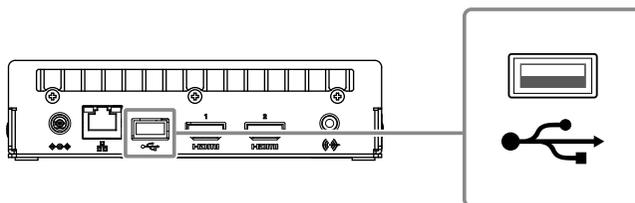
- ・ リモコンは次の図の範囲内で使用してください。



- ・ 設置する場所によっては、本体のリモコン受光部が使用できないことがあります。この場合、リモコン受光ユニットケーブルを使って、リモコン受光ユニットを接続します。リモコン受光ユニットは任意の場所に設置してください。
- ・ 製品を複数台設置する場合は、リモコン操作が相互に影響しないよう間隔を空けてください。
- ・ リモコンのID設定をおこなうことで、任意の製品を操作することが可能になります。初期値では、リモコンの信号を受信したすべての製品が同じ動作をします。リモコンのID設定については、「設定マニュアル」を参照してください。
- ・ リモコンでは設定画面の操作はできません。

● USB機器を接続する

USBダウンストリームポートに、USBマウス、USBキーボード、またはジョイスティックを接続します。



参考

- USBハブ機能を持つ機器に接続すると複数のUSB機器で操作できます。
- 対応しているジョイスティックは次のとおりです。
- AXIS T8311

● ACアダプタ（別売りオプション）を接続する

参考

- この製品はPoE+機能に対応しています。接続したネットワークハブがPoE+機能に対応している場合、LANポートから電源を入力するためACアダプタの接続は不要です。
- PoE+対応のネットワークハブに接続した状態でACアダプタを使用した場合、ACアダプタから電源が供給されます。

1. 電源コードをACアダプタに接続します。

2. ACアダプタの出力端子をこの製品のDC入力端子に接続します。

3. 電源プラグを電源コンセントに接続します。

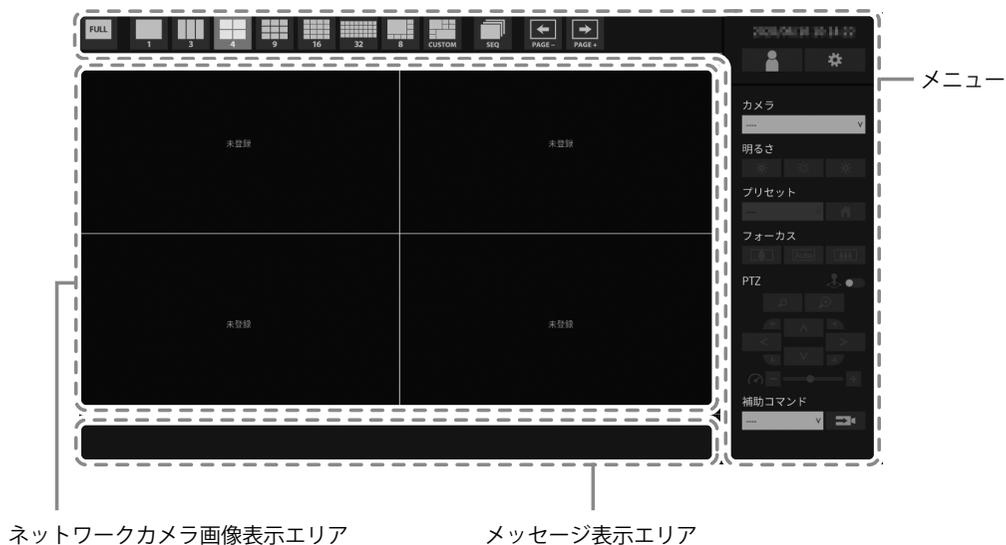
注意点

- 電源コードは電源コネクタの奥まで差し込んでください。
- ケーブル類を束ねて配線しないでください。

電源を入れる

1. 製品前面の またはリモコンのPOWERを押します。

電源ランプが青色に点灯し、ライブ画面が表示されます。



注意点

- 電源を入れてからライブ画面が表示されるまでに約1分かかります。起動中は電源を切らないでください。
- ネットワークカメラが登録されていないときは、ネットワークカメラ画像表示エリアに「未登録」のメッセージが表示されます。

参考

- 出荷時は、電源が入力されると、自動的に電源ランプが青色に点滅し、起動をはじめます。
- 電源を切る場合は、製品前面の  またはリモコンのPOWERを押します。

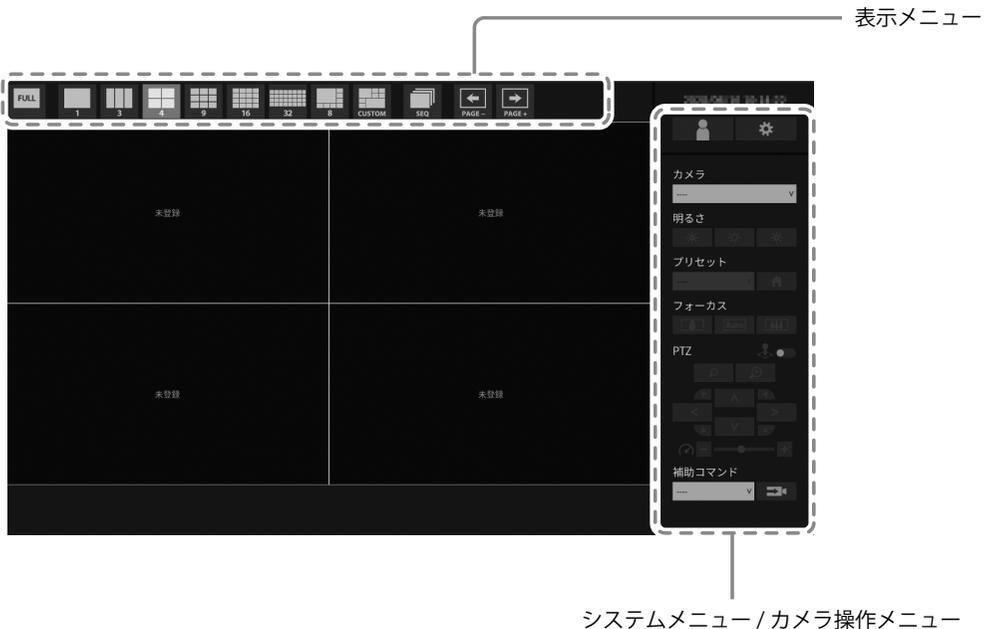
● ライブ画面について

ライブ画面の基本的な操作方法について説明します。詳細は、「操作マニュアル」を参照してください。

メニューの操作方法

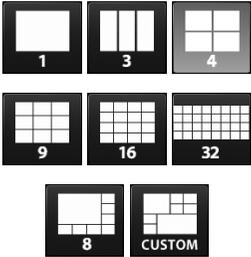
それぞれのメニューは、USBマウス、USBキーボード、リモコン、またはジョイスティックを使って操作することができます。

メニューが表示されていない場合は、リモコンのFULLを押す、またはUSBマウスで画面をクリックするとメニューが表示されます。



表示メニュー

ライブ画面に表示されるカメラ画像に関する操作ができます。エンタープライズエディションの場合、表示するアイコンは設定画面から変更できます。詳細は「設定マニュアル」を参照してください。

表示メニュー (初期設定)	リモコンボタン	ショート カットキー	詳細
	FULL	F	ライブ画面のメニューを表示 / 非表示します。
	LAYOUT	L	ライブ画面のレイアウトを変更します。
	SEQUENCE	S	カメラ画像のシーケンス表示（表示ページを一定間隔で切り替えるモード）のオンまたはオフを切り替えます。
	PAGE- / PAGE+	PageDown / PageUp	ライブ画面に表示するカメラ画像のページを切り替えます。

システムメニュー / カメラ操作メニューのリモコン操作

システムメニューでは、システムへのログインボタンを操作できます。

カメラ操作メニューでは、製品側からネットワークカメラを操作することができます。

項目	操作方法
項目を選択するとき	△ / ▽ / < / > を押します。
選択した項目を決定するとき	ENTER を押します。
設定を変更するとき	設定ボタンの場合： ENTER を押します（ズーム、位置調整を除く）。 リストボックスの場合： 1. ENTER を押します。 2. △ または ▽ で設定を選択します。 3. ENTER を押します。
1つ上の階層に戻るとき	RETURN を押します。 参考 ・設定中の変更を取り消す場合は、RETURN を押します。

初期設定をおこなう

モニターにネットワークカメラの画像を表示するための設定をおこないます。

参考

- 初期設定は、同じネットワーク上に接続したコンピュータのWebブラウザからおこなうことができます。Webブラウザ上での設定方法の詳細は「設定マニュアル」を参照してください。

● ログインする

1. (ログイン) を選択します。

ログイン画面が表示されます。



2. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

次のユーザー名とパスワードを入力してENTERを押します。

ユーザー名：「admin」

パスワード：「admin」

参考

- 上記のユーザー名とパスワードは初期設定値です。
- 「アカウントタイプ」が「LDAP」の場合、事前に「LDAP設定」の「ログインダイアログでアカウントタイプを選択する」にチェックを入れることで、ログイン時に一時的にアカウントタイプを変更することが可能です。

文字の入力方法

- USBマウスで入力する場合

テキストボックスなど文字入力が必要な項目をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。ソフトウェアキーボード外にフォーカスが移動すると、ソフトウェアキーボードは非表示になります。

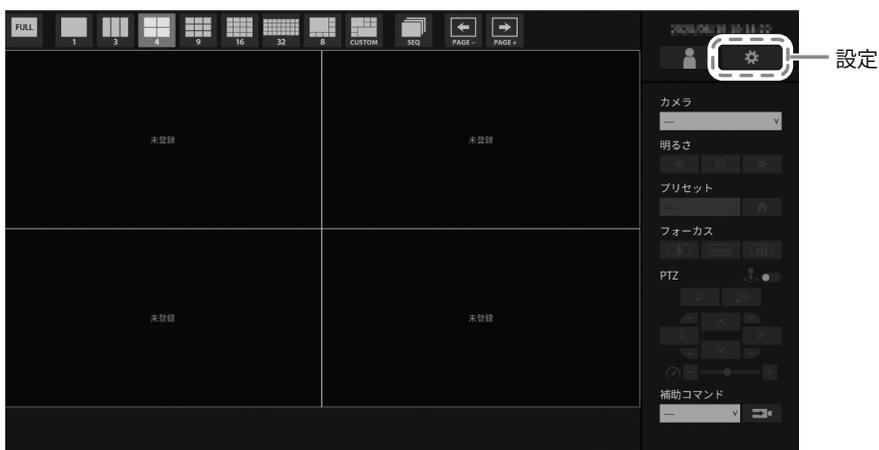


- USBキーボードで入力する場合

入力した文字がテキストボックスに表示されます。

3. 「ログイン」を選択します。

ライブ画面に戻り、（設定）が選択できるようになります。



● 日時設定をおこなう

注意点

- 正しい日付を設定してください。正しい日付が設定されていない場合、証明書検証時のセキュア通信失敗の原因になります。カメラとの通信やLDAP設定でSSLを使用する場合、または、802.1Xを使用する場合は、長時間電源を入れない状態を避けるか、NTPを使用して正しい時刻が常に設定されるようにしてください。
- LDAPでセキュア通信できなくなった場合は、ログインができなくなります。リセットボタンでアカウント設定を初期化してください。

1. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

2. 「システム」の「日時設定」を選択します。

「日時設定」画面が表示されます。



3. 現在の日付と時刻を設定します。

日付/時間表示設定

項目	内容	設定範囲
日付表示形式	日付の表示形式、時間の表示形式を設定します。	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy
時刻表示形式		

タイムゾーン設定

項目	内容	設定範囲
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。	地域 / 都市

時刻設定

項目	内容	設定範囲
設定方法※1	時刻の設定方法を選択します。	手動 / PCと同期
日時	現在の時刻を設定します。	2018/1/1 0:00 ~ 2035/12/31 23:59

※1 Webブラウザで表示の場合のみ設定できます。

4. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

参考

- ・「設定方法」で「PCと同期」を選択した場合、コンピュータの現在の日時設定情報がこの製品に送信されます。
- ・1週間以上電源に接続していないときは、製品の日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、日時を設定し直してください。

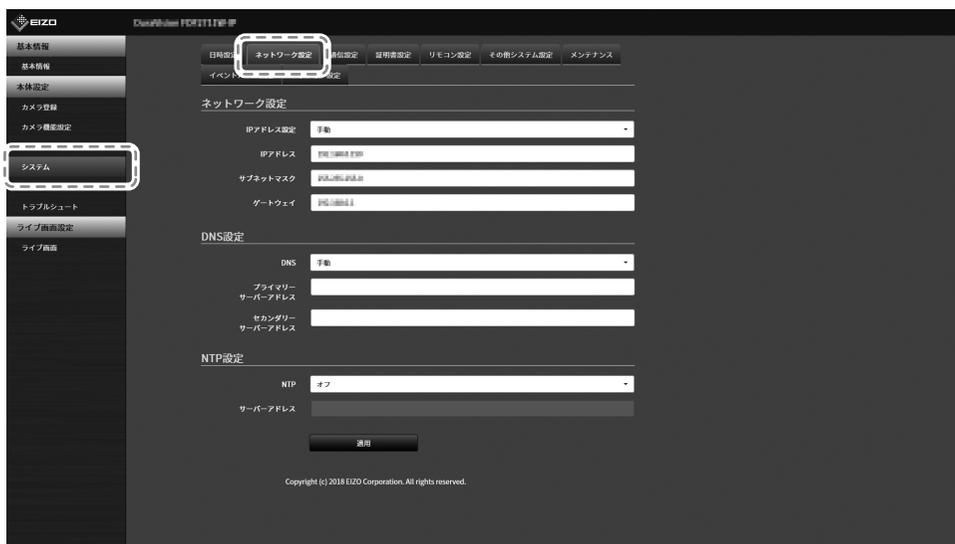
● ネットワーク設定をおこなう

1. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

2. 「システム」の「ネットワーク設定」を選択します。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。



3. 各項目を設定します。

ネットワーク設定

項目	内容	設定範囲
IPアドレス設定	「IPアドレス設定」を選択します。	DHCP / 手動
IPアドレス※1	「IPアドレス設定」で「手動」を選択した場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を設定します。 注意点 <ul style="list-style-type: none">• 同じネットワーク上の機器のIPアドレスと重複しないようにしてください。• この製品を複数台同じネットワーク上に接続する場合、IPアドレスを変更する必要があります。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254
サブネットマスク		
ゲートウェイ※2		

※1 初期値は、「192.168.0.150」です。

※2 ゲートウェイがない環境の場合は、「ゲートウェイ」を設定する必要はありません。初期設定のままとするか、空欄としてください。

DNS設定

項目	内容	設定範囲
DNS	(「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」で「手動」を選択した場合のみ) 「DNS」を設定します。	自動 / 手動
プライマリサーバーアドレス	「DNS」で「手動」を選択した場合は、「プライマリサーバーアドレス」、「セカンダリーサーバーアドレス」を設定します。	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254
セカンダリーサーバーアドレス		

NTP設定

項目	内容	設定範囲
NTP	NTPサーバーを利用する / しないを設定します。	オン / オフ
サーバーアドレス	「オン」を選択した場合は、NTPサーバーのアドレスを設定してください。	英数字、記号

入力方法については「文字の入力方法」(P.22)を参照してください。

4. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます。

5. 「OK」を選択します。

● カメラを自動検出して登録する

この製品と同じネットワーク上に接続されたネットワークカメラを自動で検出し、登録することができます。

1. ネットワークカメラを起動します。

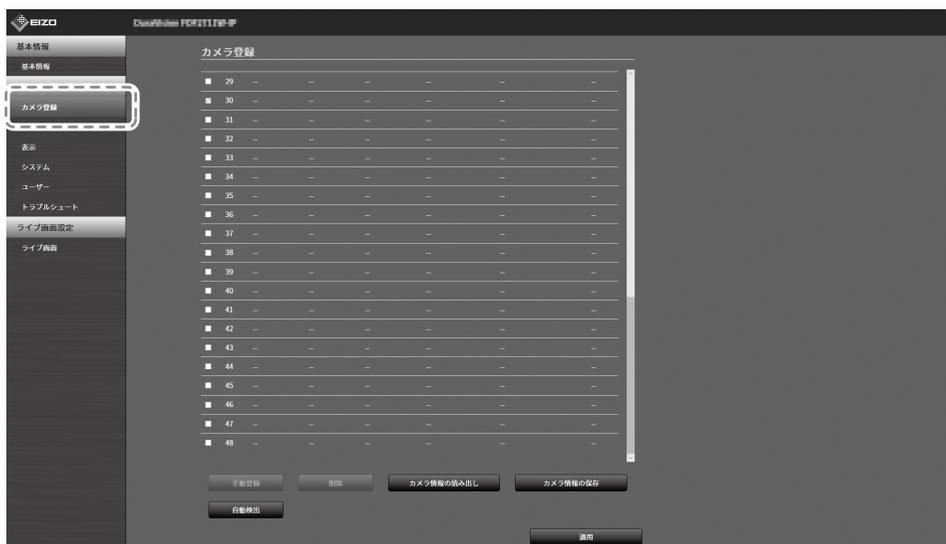
ネットワークカメラの設定については、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

2. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

3. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



4. 「自動検出」を選択します。

5. 「プロトコル」を選択します。

「Panasonic」「AXIS」「ONVIF」から選択できます。



6. ネットワークカメラの「ユーザー名」「パスワード」を入力し、「OK」を選択します。

検出結果が表示されます。



7. 登録するカメラにチェックをいれ、「追加」を選択します。

カメラが登録されます。

8. 「適用」を選択します。

確認メッセージが表示されます。

9. 「OK」を選択します。

● カメラを手動で登録する

カメラが自動検出に対応していない場合は手動で登録します。

1. ネットワークカメラを起動します。

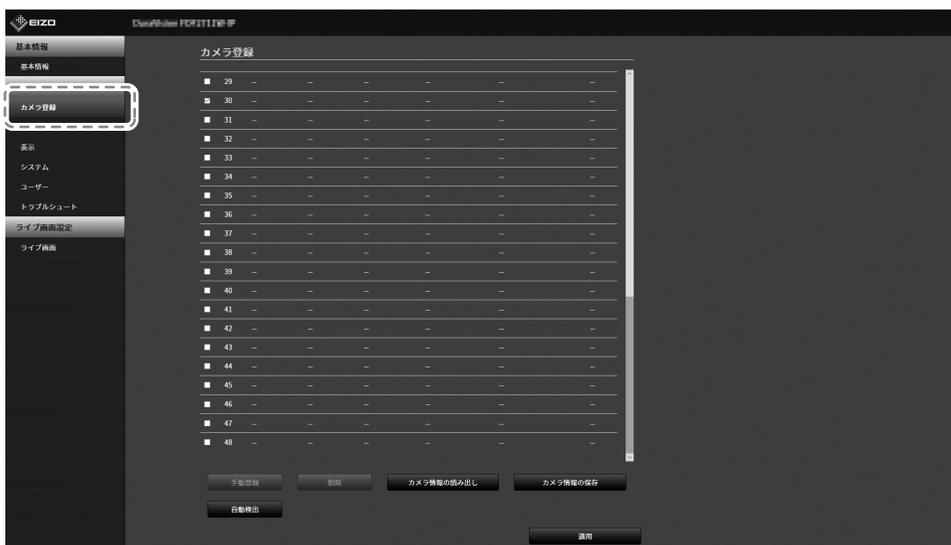
ネットワークカメラの設定については、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

2. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

3. 「カメラ登録」を選択します。

カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



4. カメラを登録する位置を選択します。

登録する位置番号のチェックボックスにチェックをいれてください。

5. 「手動登録」を選択します。

「カメラ情報設定」のダイアログボックスが表示されます。

6. 各項目を設定し、「OK」を選択します。

項目	内容	設定範囲
カメラ名 ^{※1}	カメラ名を入力します。「カメラ名取得」を選択すると、ネットワークカメラ側からカメラ名を自動的に取得します。 ^{※2} <ul style="list-style-type: none"> 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合は「カメラ名取得」を使用できません。 	英数字、かな ^{※3} 、漢字 ^{※3} （24文字まで）
IPアドレス	ネットワークカメラのIPアドレスを入力します。	0.0.0.1 ～255.255.255.254
「Ping」ボタン	カメラに対して接続テスト（Pingコマンドの実行）をおこないます。	-
ポート	ネットワークカメラのポート番号を入力します。	1～65535 ^{※4}
SSL ^{※5}	セキュア通信をおこないます。	-
証明書の検証	SSL通信時の証明書の検証について選択します。 注意点 <ul style="list-style-type: none"> 「証明書の検証」が「オン」の場合、ネットワークカメラのルート証明書が、「証明書設定」の「ルート証明書」に登録されている必要があります。 	オン / オフ
プロトコル	カメラを制御するプロトコルを選択します。	Panasonic / AXIS / ONVIF / DirectUri / SRT ^{※6}
ユーザー名 ^{※7}	ネットワークカメラへアクセスするときに使用するユーザー名を入力します。	英数字、記号（32文字まで）
パスワード ^{※7}	ネットワークカメラへアクセスするときに使用するパスワードを入力します。	英数字、記号（32文字まで）
メディアプロファイル ^{※8}	ネットワークカメラのメディアプロファイルを選択します。 「プロファイル取得」を選択すると、ネットワークカメラ側からプロファイルの一覧を取得します。	EIZO_Profile / 各カメラのプロファイル
配信方式 ^{※8}	カメラ画像の配信方式を選択します。	ユニキャスト / マルチキャスト

項目	内容	設定範囲
URI※9	「プロトコル」が「DirectURI」：rtsp://または rtp://から始まるURIを設定します。 「プロトコル」が「SRT」：srt://から始まるURIを 設定します。	英数字（1023文字ま で）
接続方式※10	カメラ画像の接続方式を選択します。	RTP over UDP※11 / RTP over RTSP / SRTP over UDP※12
ストリーム※13	ストリームの形式を選択します。	1 / 2 / 3 / 4
チャンネル※13	ストリームのチャンネルを選択します。	1 / 2 / 3 / 4
RS485PTZ制御※13	RS485通信に対応したカメラのPTZ操作をについ て選択します。	オン / オフ
ビデオストリーム※14	ビデオストリームの形式を選択します。	カメラにより異なる
ストリームプロファイル ※14	ストリームプロファイルを選択します。	カメラにより異なる
レイテンシ※15	レイテンシを設定します。	20 ms ~ 8000 ms
パスフレーズ※15	パスフレーズを設定します。	英数字、記号（79文 字まで）

※1 「IPアドレス」 / 「ポート」 / 「ユーザー名」 / 「パスワード」を入力した場合にのみ取得でき
ます。

※2 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合は、「カメラ名取得」ボタンが表示され
ません。

※3 WEBブラウザで表示の場合のみ使用できます。

※4 「プロトコル」が「DirectUri」で、「URI」がrtp://から始まる場合は、1024 ~ 65534になりま
す。

※5 「プロトコル」が「Panasonic」「AXIS」「ONVIF」の場合のみ設定できます。

※6 エディションがエンタープライズで、かつ、拡張機能の「SRT」が有効な場合のみ設定できま
す。なお、接続モードはCallerモードのみサポートします。

※7 管理者権限を持つユーザー名、パスワードを入力してください。詳細はネットワークカメラの
取扱説明書を参照してください。

※8 「プロトコル」が「ONVIF」の場合のみ設定できます。

※9 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合のみ設定できます。

※10 「プロトコル」が「Panasonic」「AXIS」「ONVIF」「DirectUri」の場合のみ設定できます。

※11 次の場合は「RTP over UDP」のみ設定できます。

- ・「プロトコル」が「ONVIF」で、「配信方式」が「マルチキャスト」の場合
- ・「プロトコル」が「DirectUri」で、「URI」に「rtp://マルチキャストアドレス」が正しく入力
されている場合

※12 次の条件をすべて満たす場合に設定できます。

- ・ エディションが「エンタープライズ」
- ・ 「プロトコル」が「AXIS」
- ・ 「SSL」にチェックが入っている
- ・ カメラのSRTP設定が有効になっている

※13 「プロトコル」が「Panasonic」の場合のみ設定できます。

※14 「プロトコル」が「AXIS」の場合のみ設定できます。

※15 「プロトコル」が「SRT」の場合のみ設定できます。

手順3のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。

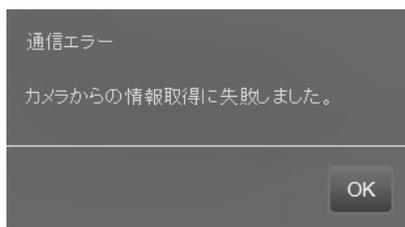
7. 「適用」を選択します。

確認メッセージが表示されます。

8. 「OK」を選択します。

参考

- ・「カメラ名取得」、「プロファイル取得」の情報の取得に失敗した場合は、次のメッセージが表示されます。設定を再確認してください。



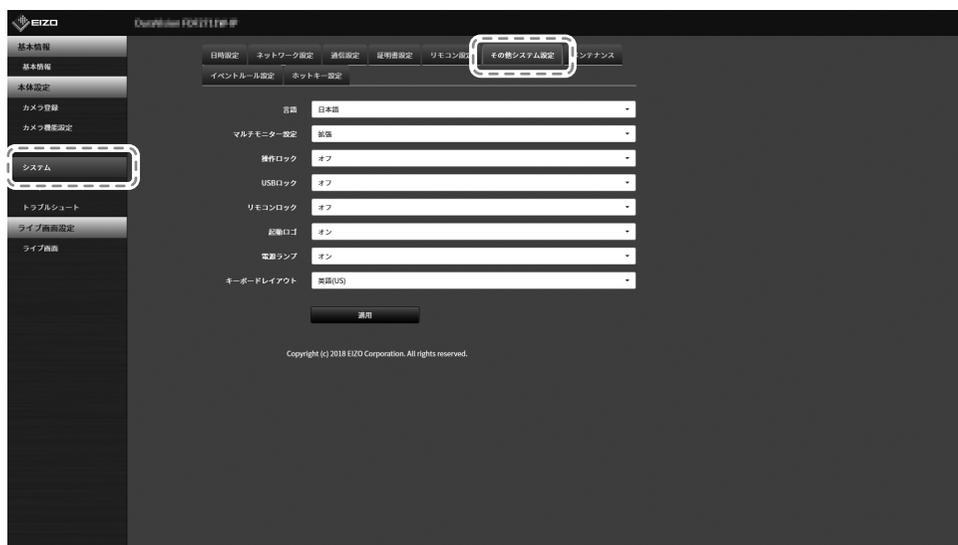
● 言語設定をおこなう

1. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

2. 「システム」の「その他システム設定」を選択します。

「その他システム設定」画面が表示されます。



3. 「言語」のリストボックスから言語を選択します。

4. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されます

5. 「OK」を選択してください。

ご参考に

ソフトウェアバージョンを確認する

1. (設定) を選択します。

設定画面が表示されます。

2. 「基本情報」を選択します。

システム情報に現在のソフトウェアバージョンが表示されています。



The screenshot shows the EIZO PC control software interface. The left sidebar has a menu with '基本情報' (Basic Information) highlighted. The main content area is titled 'システム情報' (System Information) and displays the following details:

- カメラ・表示位置: カメラ設定, 日時設定, ネットワーク設定, 通信設定, 証明書設定, その他システム設定
- イベントルール設定, リモコン設定, ユーザーアカウント設定
- システム情報
 - モデル: 00000000
 - S/N: 00000001
 - ソフトウェアバージョン: 1.0.0.0
 - エディション: エンタープライズ
 - セキュリティレベル: 低 (詳細)
 - 解像度: [1920x1080] [1920x1080]
 - 表示状態: 複製
 - MACアドレス: 00:00:00:00:00:00
 - 通信速度: 1000Mbps 全二重
- カメラ・表示位置
 - Table with 5 columns: No., カメラ名, モデル, プロトコル, IPアドレス, MACアドレス
 - Row 1: 1, BenQcam01, 00000001, WebCamera, 192.168.1.101, 00:00:00:00:00:01
 - Row 2: 2, カメラ02, 00000002, 未知, 192.168.1.102, 00:00:00:00:00:02
 - Row 3: 3, 00000003, 00000003, 未知, 192.168.1.103, 00:00:00:00:00:03
 - Row 4: 4, 00000004, 00000004, 未知, 192.168.1.104, 00:00:00:00:00:04
 - Row 5: 5, --, --, --, --, --
 - Row 6: 6, --, --, --, --, --
 - Row 7: 7, --, --, --, --, --

仕様

LAN	規格	IEEE802.3ab (1000BASE-T)、IEEE802.3u (100BASE-TX)		
	通信速度	1000 Mbps、100 Mbps		
入力信号 (ネットワーク)	端子	RJ-45		
	動画圧縮形式	H.264 / H.265、MJPEG		
	最大解像度	H.264 / H.265	3840×2160 ^{※1}	
		MJPEG	640×480	
	最大フレームレート	60 fps ^{※2}		
	最大ビットレート	8192 kbps		
	ネットワークカメラ表示台数	最大32台		
対応プロトコル	RTSP、RTP、SRTP、SRT、DHCP、DNS、NTP、HTTP、HTTPS、LDAP、LDAPS、SNMP、802.1X			
出力信号 (HDMI)	出力端子	HDMI		
	伝送方式	TMDS (Single Link)		
USB	ポート	ダウンストリーム×1		
	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠		
	通信速度	480 Mbps (ハイスピード)、12 Mbps (フルスピード)、1.5 Mbps (ロースピード)		
	供給電源	最大500 mA		
音声	出力端子 ^{※3}	HDMI×2 (映像信号と共用) ステレオミニジャック×1		
電源	電源入力	DC 12 V ±10 %、2.0 A (DC入力)、IEEE 802.3at class 4 (PoE+入力)		
	最大消費電力	21.5 W以下 (DC入力)、25.5 W以下 (PoE+入力)		
機構	外観寸法	165 mm×44.2 mm×130 mm (幅×高さ×奥行)		
	質量	約770 g		
動作環境条件	温度	0 °C ~ 40 °C		
	湿度	20 % ~ 80 % R.H. (結露なきこと)		
	気圧	540 hPa ~ 1060 hPa		
輸送 / 保存環境条件	温度	-20 °C ~ 60 °C		
	湿度	10 % ~ 90 % R.H. (結露なきこと)		
	気圧	200 hPa ~ 1060 hPa		

※1 最大解像度を超えると、画像は表示されません。ネットワークカメラの解像度およびビットレートを下げてください。

※2 最大フレームレートは解像度によって異なります。(「入力解像度」(P.34) 参照)

※3 アラート受信によるビープ音の出力が可能です。

● 対応解像度

入力解像度

この製品で同一画面に表示できる映像の解像度は次のとおりです。

H.264 / H.265 (「ビットレート」設定が「4096kbps」の場合)

映像表示モニターの解像度が1920×1080、60 Hzの場合

1面表示	3840×2160 / 30 fps、1920×1080 / 60 fps、1280×720 / 60 fps
4面表示	3840×2160 / 20 fps、1920×1080 / 60 fps、1280×720 / 60 fps
9面表示	1920×1080 / 30 fps、1280×720 / 50 fps、640×480 / 60 fps
12面表示	1920×1080 / 20 fps、1280×720 / 40 fps、640×480 / 60 fps
16面表示	1920×1080 / 20 fps、1280×720 / 30 fps、640×480 / 50 fps
32面表示	1280×720 / 15 fps、640×480 / 30 fps

映像表示モニターの解像度が3840×2160、60 Hzの場合

1面表示	3840×2160 / 30 fps、1920×1080 / 30 fps、1280×720 / 30 fps
4面表示	3840×2160 / 20 fps、1920×1080 / 30 fps、1280×720 / 30 fps
9面表示	1920×1080 / 25 fps、1280×720 / 30 fps、640×480 / 30 fps
12面表示	1920×1080 / 20 fps、1280×720 / 25 fps、640×480 / 30 fps
16面表示	1920×1080 / 20 fps、1280×720 / 25 fps、640×480 / 30 fps
32面表示	1280×720 / 15 fps、640×480 / 20 fps

MJPEG

640×480 / 30 fps

注意点

- ・ 上記は参考値です。ネットワークカメラの設定やネットワークの設置環境などにより表示性能を超えると、映像が正しく表示されません。映像が正しく表示されない場合は、ネットワークカメラの解像度およびビットレートを下げてください。ネットワークカメラの設定は使用するカメラの取扱説明書に従ってください。

出力解像度

この製品からモニターへの出力解像度は次のとおりです。

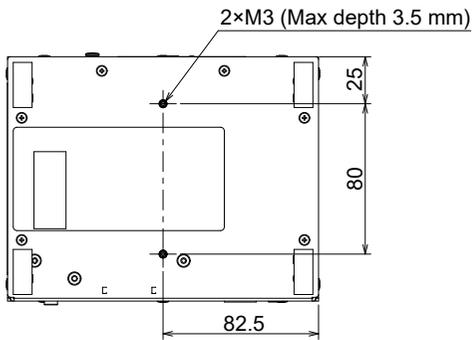
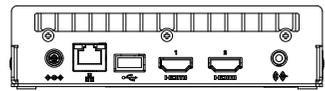
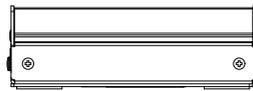
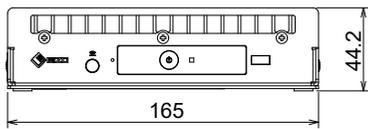
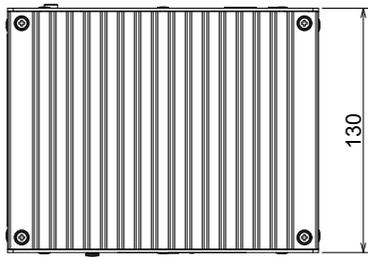
解像度	垂直走査周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]
1920×1080	60	594.0 (最大)
1920×1080	59.94	
1920×1080	50	
2560×1440	59.951	
3840×2160	60	
3840×2160	59.94	
3840×2160	50	
3840×2160	30	
3840×2160	29.97	
3840×2160	25	

注意点

- 次の条件をすべて満たす場合、リフレッシュレートは最大30Hzに制限されます。
 - 2台のモニターを接続している
 - 「解像度」が「3840x2160」
 - 「マルチモニター設定」が「拡張」
 - 「画面の向き」が「縦」
-

● 製品寸法図

単位：mm



こんなときは

画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・ 電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">電源に正しく接続されていますか。ACアダプタまたはPoE+対応のネットワークハブに接続してください。ACアダプタやネットワークハブの電源コードが正しく接続されていますか。
・ 電源ランプが点灯：赤色 ・ 電源ランプが点滅：赤色	<ul style="list-style-type: none">製品前面の  を押してください。PoE対応ネットワークハブに接続されており、電力が不足しています。PoE+対応のネットワークハブに接続するか、ACアダプタ（別売りオプション）に接続してください。
・ 電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none">この製品とモニターをHDMIケーブルで正しく接続していますか。HDMI 2ではなくHDMI 1に接続してください。HDMIケーブルを接続し直してみてください。モニターの入力信号がHDMIになっていますか。モニターの設定が正しいことを確認してください。 詳細はモニターの取扱説明書を参照してください。

画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画像がカクカクとした表示になる / カメラ映像が表示されない（カメラ画像表示時）	<ul style="list-style-type: none">ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてください。（詳細は、「設定マニュアル」参照）情報伝送量に応じたハブとネットワークケーブルを使用しているか確認してください。設定画面に移動後、再度ライブ画面に戻ってみてください。
2. 製品本体の  を押すか、リモコンのPOWERを押して電源投入した後、約30秒間、ライブ画面にカメラ映像が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none">主電源を切った後すぐに再度主電源を入れると、最初の数分間画像が正しく表示されないことがあります。 数分後に正常に復帰します。
3. ネットワークカメラの時間とシステムの時間が一致していない（カメラ画像表示時）	<ul style="list-style-type: none">設定画面で、ネットワークカメラの時刻をこの製品の時刻に合わせてください。（詳細は、「設定マニュアル」参照）

症状	原因と対処方法
<p>4. カメラ画像表示エリアにエラー「E**-**」が表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 通信失敗 (E01-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークカメラの同時接続数を超過している可能性があります。カメラへアクセスしている他のネットワーク機器の接続を切るか、カメラの解像度を下げてみてください。(詳細は、「設定マニュアル」参照) • 通信失敗 (E02-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークケーブルは正しく接続されていますか。 - ネットワークカメラの電源は入っていますか。 - カメラのユーザー名、パスワードをシステムに正しく設定しましたか。 - 製品、ネットワークカメラのIPアドレスが重複していませんか。 - 「証明書の検証」が有効の場合、証明書の有効期限などが正しいですか。(詳細は、「設定マニュアル」参照) • 通信失敗 (E03-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワーク帯域が圧迫しているか、この製品の表示性能を超過している可能性があります。 ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてみてください。(詳細は、「設定マニュアル」参照) • 非対応解像度 (E04-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - 映像の解像度が、この製品で表示できない可能性があります。 ネットワークカメラの解像度を変更してみてください。 • 圧縮形式の不一致 (E05-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークカメラから配信されるストリーミングの形式が、この製品と異なっている可能性があります。 カメラおよびこの製品の設定を確認後、この製品を再起動してください。 • 不正なパラメータ (E06-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - Multicastの設定値が正しく設定されていない可能性があります。 カメラの設定を確認してください。 • ネットワーク接続エラー (E07-**) の場合 <ul style="list-style-type: none"> - この製品にLANケーブルが接続されていないなど、ネットワークが接続されていない可能性があります。 ネットワーク接続を確認してください。 • E08-** <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークカメラのプロトコルを使用するためのライセンスがありません。 ライセンスを確認してください。

設定に関する症状

症状	原因と対処方法
1. ログインできない	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザー名とパスワードを再度入力してみてください。・ リセットボタンでアカウント情報をリセットし、初期設定のアカウントでログインしてください。（詳細は、「各部の名称と機能」(P.10) 参照）
2. 複数チャンネルに対応しているビデオエンコーダで、カメラ1台分しか認識されない	<ul style="list-style-type: none">・ 使用するチャンネル数分、手動で登録してください。（詳細は、「設定マニュアル」参照）
3. ネットワークカメラの手動登録で「適用」を選択しても通信エラーとなる	<ul style="list-style-type: none">・ ネットワークカメラと通信できていない場合があります。・ ネットワークの接続状況やカメラの登録内容を確認してください。
4. 新規ユーザーを登録できない	<ul style="list-style-type: none">・ 登録済みユーザーと同じユーザー名は登録できません。・ 登録可能なユーザーは10名までです。すでに10名のユーザー情報を登録していないか確認してください。（詳細は、「設定マニュアル」参照）・ 入力したセキュリティカメラのユーザー名、パスワードに誤りがないか確認してください。
5. ユーザーを削除できない	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーが1名しか登録されていない場合、それを削除することはできません。「ADMIN」ユーザーは必ず1名必要です。登録済みのユーザー情報を確認してください。（詳細は、「設定マニュアル」参照）
6. カメラとの通信ができない	<ul style="list-style-type: none">・ ネットワークカメラの設定やシステムの設定を確認してください。詳細は、システム管理者にお問い合わせください。
7. 設定した日付と時間が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">・ 1週間以上電源に接続していないと、システムの日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、再度日時を設定し直してください。（詳細は、「設定マニュアル」参照）
8. Webブラウザ画面を表示できない。	<ul style="list-style-type: none">・ 同じネットワーク上の機器のIPアドレスが重複していないか確認してください。この製品を複数台同じネットワーク上に接続する場合、初期値のままで使用するとIPアドレスが重複することになります。ネットワーク設定については、「ネットワーク設定をおこなう」(P.24) を参照してください。
9. エンタープライズライセンスのアクティベーションに失敗する	<ul style="list-style-type: none">・ エラーコード、製品名、シリアル番号、製品のファームウェアバージョン、エラーになったアクティベーションファイルをライセンス購入元に送ってください。

その他の症状

症状	原因と対処方法
1. マウス/キーボードが効かない	<ul style="list-style-type: none">• USBケーブルは正しく接続していますか。• USBケーブルを接続し直してください。• USBロック機能が有効になっていませんか。（詳細は、「設定マニュアル」参照）
2. マウス/キーボードの反応が悪い	<ul style="list-style-type: none">• ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてください（詳細は、お使いのネットワークカメラの取扱説明書またはこの製品の「設定マニュアル」を参照してください）。
3. ネットワークカメラの表示位置が変更できない	<ul style="list-style-type: none">• カメラ操作が可能なユーザーは「CAMERA CONTROL」または「ADMIN」です。（詳細は、「設定マニュアル」参照）• シーケンス表示中はネットワークカメラの表示位置を変更できません。（詳細は、「設定マニュアル」参照）
4. 突然再起動する	<ul style="list-style-type: none">• 製品内部の温度が高温になった場合に再起動を繰り返すことがあります。この製品の周辺の温度を確認してください。また、狭い場所や通気性の悪い場所での使用や製品の上にもものが置かれた状態での使用も内部温度が高温となる原因となります。

付録

VCCI

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-A

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼される時

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号（製造番号は、本体の底面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / ネットワークカメラ / ネットワークハブ / ネットワーク設定モニター / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- エラーコード（画面に表示された場合）

廃棄について

この製品は、自治体の条例に従って廃棄してください。

ユーザー登録のお願い

お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、次のアドレスにアクセスし、ユーザー登録をお願いいたします。

www.eizo.co.jp/registration

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

製品名	保証期間
DuraVision® DX0211-IP	お買い上げの日より 2年間

記入欄

フリガナ	製造番号 (S/N)
お名前	様 製造番号は、本体の底面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
TEL ()	お買い上げ年月日 年 月 日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

- この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
 - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
 - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
 - センサー経年変化による性能劣化（測定値の変化など）
 - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
 - 付属品（ケーブル、取扱説明書、CD-ROMなど）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 当社指定の消耗品（電池、リモコン、タッチペンなど）の故障、損傷、劣化、紛失
 - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
 - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
- 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低7年間保有しています。この期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
- 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただきます。
- 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害についても責任を負いません。また、この製品の記憶装置に記録された内容の消失などについても同様です。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。



EIZO株式会社

〒 924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

www.eizo.co.jp

00N0N120D2

SUM-DX0211-IP-JA